



感染対策の最前線で使われるプロフェッショナル用マスク

N95マスクを知る

新型コロナウイルスに関する日々の報道のなかで「N95マスク」という言葉を聞いたことがあるだろう。最近ではIOCのトーマス・バッハ会長が東京オリンピックの準備状況を視察に来た時に着用していたからご記憶の方も多と思う。医療の現場をはじめ、さまざまなシチュエーションで使われるプロフェッショナル用「N95マスク」、このマスクがどういうものなのか、一端をここで紹介する。

構成／本誌編集部 文／鈴木理也 写真／鶴田智昭(WPP) 取材協力／スリーエム ジャパン株式会社



有職故実から日本のマスク文化を繙く^{ひもと}

マスクの歴史から見える ニッポン人とは？

コロナ禍の渦中、ひそやかに全世界から注目を浴びている個人コレクションがある。
一般社団法人北多摩薬剤師会会長平井有先生の、マスクコレクションである。明治時代から昭和に至るマスクを
眺覽すると、そこには歴史や文化、そして人の生活の営みが浮かびあがってくる。歴史家高山式部源宗東が、
その膨大なコレクションを拝見し、有職故実の観点から日本人とマスクについて考える。

文・挿絵／歴史家・高山式部源宗東 写真／鶴田智昭(WPP) 取材協力／一般社団法人 北多摩薬剤師会会長 平井有、
同事務局 吉田香 <https://www.tpa-kitatama.jp/>(北多摩薬剤師会)、一般社団法人立川市薬剤師会事務局 玉澤あや子

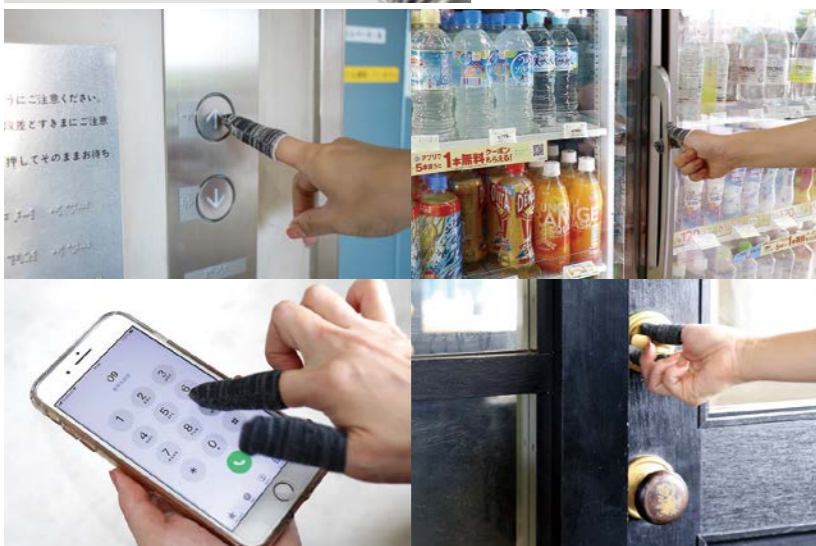


美濃和紙布マスク



無縫製マスク

指マスク



美濃和紙を使ったマスクなど
ひと味違うマスクはいかが？

Damasquina
美濃和紙布マスク
価格1760円
無縫製マスク
価格1760円
指マスク
価格1320円

ダマスキーナは岐阜県美濃市に居を構え、手なじみのいい革小物などを中心に扱うコンセプトショップだ。そこで見つけたマスクがただものではない。まずは「美濃和紙布マスク」。古来より傘につかわるほど水に強く破れにくい和紙を、細かく切って撚りかけたものを糸にした美濃和紙系でつくった立体型マスクだ。抗菌効果が高く、肌ざわりは麻に似ている。繰り返し洗って使用できる。ちなみに美濃和紙はその品質の高さから2020東京オリンピックの表彰状に採用されている。次に「無縫製マスク」は特殊編み機ホールガーメントにより、無縫製にて立体的に編み立てたマスク。縫製特有のあたりが一切なく、伸縮性にも優れ、肌ざわりがよいのが特徴。またウイルスカットフィルター挿入口が編み込まれているので、市販のウイルスカットフィルターや綿ガーゼを装着できる。装着性、防菌防臭性の高いマスクとなっている。最後に「指マスク」を。こちら超抗菌素材×導電糸でつくられた次世代の最強ニット製品。素材、フィット感、タッチパネル反応の機敏さにこだわっている。ウイルスがつきがちなスマホはもちろん、不特定多数がさわるタッチパネル、エレベーターのボタンやつり革なども直接触れずに操作できる。もちろん洗って何度でも使用可能。

☎Damasquina ☎058-214-8253
http://damasquina.com



ホールガーメントによる特許申請中のマスク編み。1台の機械で1時間に3枚しかできない。

ランニング時の息苦しさを解消
ランナーのためのマスク

三笠
走れマスク
価格990円

ランニングやウォーキングのときでも、ソーシャルディスタンスを保てない場所ではマスクを着用するエチケットを守っている方を目にする。なるべく負担にならないマスクをつけてほしい。そこでご紹介したいのがこちら。東レが開発した高吸放湿ナイロンを採用したもので、マスク内の湿度を素早く放出し息苦しさを軽減できる、まさにスポーツ時にうってつけの製品だ。表面がメッシュ編みとなり、見るからに呼吸しやすそうであるが、これはホールガーメントという日本製の機械で編むもので、技術者が研究を重ねて開発した特許出願中の製法。伸縮性がありつけ心地も快適だし、濡れてもしばってすぐに使える速乾性や、マスク表面についているマークによって、表裏上下がひとめでわかるなど、きちんとツボを押さえたつくりがありがたい。ウイルスなどの侵入を防ぐ仕様ではないが、運動時のエチケットとして使いやすいマスクだ。

☎三笠 ☎0120-709-240 https://www.rakuten.co.jp/mikasa



足袋の町から生み出された
着けるひとに寄り添ったマスク

オザワ
上/行田という足袋の町で作ったマスク
価格1000円
下/行田という足袋の町で作った“夏”マスク
価格1000円

埼玉県行田市は享保の時代(1716-1736)に忍藩士が藩士の婦女子に足袋づくりを奨励したとされる土地柄。今日「足袋の町」として全国的に知られている。糸と糸が交差するこの地のアパレルメーカーから登場したのがこちらのマスク。ひとつひとつ縫製されたご当地の仕事が反映されている。「行田という足袋の町で作ったマスク」はポリエステル100%ながらもコットンライクな優しい肌ざわりが特徴。吸水速乾、UVカット、そして毛玉ができてくいのつくりはさすが縫製の地のマスクだ。「行田という足袋の町で作った“夏”マスク」は表側100%ポリエステル(メッシュ)、裏側100%コットン(ガーゼ)という夏仕様になっている。

☎オザワ ☎048-556-0261
https://ozawasp.base.shop/



品のあるパターンをあしらった
コーディネートに映えるマスク

listyc
上/ラックス ウォーム ハウンドトゥース フェイスマスク
価格2200円
下/グレンチェックフェイスマスク
価格7480円

身を守るためのマスクもこれだけ日常アイテムとなると、コーディネートを考えるときに役立つものもラインアップしておきたい。listycにラインアップされているマスクは、定番パターンを用いた品のあるテキストもも味、写真上はハウンドトゥース柄を用いたアイテムでプリティッシュな雰囲気漂う。パプアのジャケットを着るときなど、すぐマッチしそう。素材はアクリル47%、ナイロン25%、レーヨン26%、ポリウレタン2%となっており、裏地はコットン100%の日本製となっている。一方、リステックのオリジナル商品としてこのたび登場したのがグレンチェック柄のフェイスマスク(写真下)。グレンチェックの柄に遊びを加えたオシャレな一品だ。こちらは表地ウール、裏地はコットンとなっている。ほかにも多彩なチェック柄のほか、女性向けにレースなどのデザインがラインアップされている。WEBをチェック!

☎listyc ☎06-4792-7453
https://lz.thebase.in/